高校現代文を解く前に〜筆者の主張を見つける　001 主張は抽象度が高い

筆者の主張を問う設問はよくでますし、文章を読み解く上でも重要です。

短い文章の例文と例題を使って、筆者の主張を見つける練習をしてみましょう。

例文1

私は洋食屋さんの料理が好きである。

アツアツの鉄板にのってくる焼きたてのハンバーグが大好物だ。

そこにクリームコロッケが一緒だとうれしい。コーンスープがついているとさらにいい。サラダも少しついているとバランスもいい。

食後はコーヒーと小さなケーキがあるとほとんど満点だ。

頻繁には行けないが、たまに行くとこれらの料理は私を最高の気分にさせてくれる。

よって私は洋食屋さんの料理が好きなのだ。

この例文Ⅰで、筆者の主張はどこにあるのでしょうか。

「筆者の主張って、だいたい最初か最後にあるんでしょ？塾の先生が言っていた」のような声が聞こえてきそうなものですが・・・

そうです。筆者の主張は、最初の方か最後の方にあることが多いです。

事実、この例文Ⅰでも筆者の主張は

最初の　私は洋食屋さんの料理が好きである。　と

最後の　私は洋食屋さんの料理が好きなのだ。　とあるので、どちらを選んでも正解ですが、筆者の主張が最初か最後にくるのには理由があります。

それはレポートや小論文などの評論系の文章は、大まかに次のような構成になることが多いからです。

・最初にズバッと結論を述べる。
・具体例や理由Ⅰ（体験談などでも具体例に含めます）
・具体例や理由2（どこからの引用も具体例に含めます）
・具体例や理由3（具体例や理由などがいくつあるのかは文章によります）
・最後にもう一度結論でまとめる。

大雑把に言うとこのような構成になるので、結論つまり主張は最初や最後にくることが多いのです。

しかし、テストの文章は長い文章の一部を切り取ったものであることも多いので、キリの良く無い箇所でわざと切り取られていると、この法則は使えません。

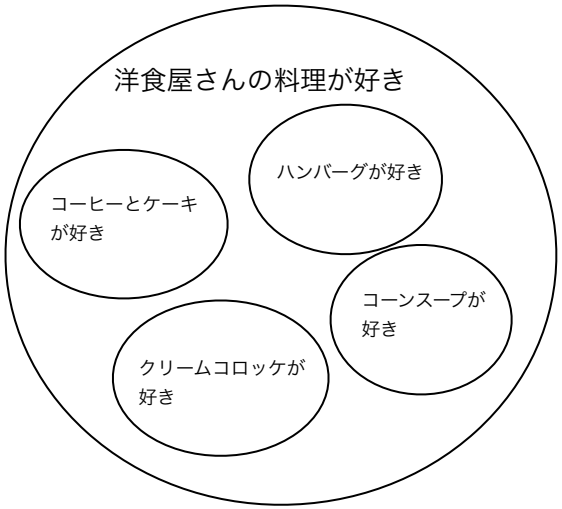
また随筆などでは、結論を述べた後にも体験談や具体例を述べて、そこで文章を終わりにすることもあります。

ですから、大事なことはどこにあるのかよりも、主張は具体例よりも抽象的である　ということです。

例文Ⅰには、ハンバーグが大好物　や　クリームコロッケがうれしい　などいろいろな具体的な料理が好きだという話が並びますが、それと比較すると洋食屋さんの料理が好きだということは、一段抽象度が高いことになります。

ですから、具体例は筆者の主張ではありません。あくまでも筆者の主張を裏付けるための材料ということになります。

（次のページでまとめと例題です）



まとめ

筆者の主張は具体例ではなく、一段抽象的であることが多い。
筆者の主張は最初の方か最後の方であることが多いが、それに囚われすぎずに、しっかり文章を読む。

これを踏まえておけば、大学入試共通テストレヴェルの現代文くらいなら、筆者の主張をつかむことができます。
では、例題をやって確認してみましょう。

例題A　次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

「お昼の休み時間は、グランドに出て遊びましょう」
教師や学級委員がそう言うたびに、私はいつも心の中で疑問に思っていた。
（だって、休み時間なんだから、基本何をしてもいいんじゃないの？）
でもそうはならない。みんなでミニサッカー、みんなでドッジボール、みんなで鬼ごっこ・・・
参加しないと、その後でまるでこのクラスの一員ではないかのような冷たい視線を浴びることになるのだ。
そう、どこまでも合わせないといけない。みんなに。
大人になった今でもやっぱり思うのは、つくづくこの国は集団行動が好きだと言うこと。
場合によってはそれをちょっと息苦しいことだと感じる。
でも、教師や生徒の多くは授業時間はもちろんのこと、休み時間もみんなで動かないと気が済まないのだろう。

（縞井　一樹「いびつな真珠を上手く弾く」より）

問　この文章で筆者の主張は何か。次の選択肢から選びなさい。

1　休み時間をもっと自由に過ごしたいが、そうさせてくれなかった教師を今でも恨んでいる。
2　この国はみんなで一緒に同じ行動することが好きだが、それは時には窮屈だ。
3　休み時間にまで集団行動をさせるのは、休み時間の過ごし方の本質から外れている。
4　みんなで行動するという学校教育は、その後の社会への適応能力ためには必要である。
5　教師も生徒たちも、授業でも休み時間でも集団行動をしたい人が多い。

ポイント解説と解答

具体例と、それより抽象度の高い主張ということに注目します。

具体例：休み時間でも、みんなでミニサッカー、みんなでドッジボール・・・
←
主張　：つくづくこの国は集団行動が好き

具体例：参加しないと・・・冷たい視線を浴びるから、合わせないといけない。
←
主張　：（みんなに合わせることは）場合によっては息苦しい。

このように具体例と一段抽象の主張という構成になっていますね。
ということは、もうおわかりかと思いますが、学校での出来事は筆者の主張ではありません。筆者の過去の体験談を踏まえたあくまでも具体例だということになります。
よって答えば、2　です。
他の選択肢はどれも具体例の学校のことに言及しています。
特に、3　や　4　のような、一般論としては正しそうなことを言っている選択肢には要注意です。
5は本文に書いてありますが、具体例をそのまま書いてあるだけで筆者の主張ではありません。